

## 平成24年度 教師海外研修 研修報告書

派遣国：タンザニア

学校名：洋光台第三小学校

担当：

氏名：井上 文裕

**1. 今回の研修における目的やねらい**

今回私がタンザニアに行って実際に感じたこと、得た知識を子どもたちに還元することにより、「多様な価値観」を身につけさせたい。この目的やねらいを達成するためにも、できるだけたくさんの「材」を集め、タンザニアと自分とを比較し、様々な思考、価値観を引き出したい。

**2. 目的やねらいがどのくらい達成されたか**

上記のねらいを達成するために、できるだけたくさんの素材集め（写真、民芸品などの具体物など）を行った。インタビューについては、それぞれが行ったものを共有することができたので、それを活かしていきたいが、まち歩きが治安の関係であまりできなかったため、現地の人々と触れ合う時間が取れなかったのが残念である。目的やねらいは達成できたと思う。

**3. タンザニアから学んだこと**

タンザニアの人たちは、日本が忘れてしまったかもしれないものを大切にしていた。それは人と人との繋がりであり、絆である。日本で連日のようにニュースで流れている社会問題のニュースをタンザニアの人たちが聞いたら、どう思うのだろうか。先進国になると人との繋がりを大切にしなくなるのか、と思うのだろうか。

**4. 今回の研修経験をどのように教育活動に活用しようと思っているか**

日本とタンザニアの違いを多に感じることができた。その違いを授業化し、子どもたちがもっている「画一的な価値観」を、「多様な価値観」へと変化させるような教育活動を行いたい。

**5. 今回の研修に参加してよかったことや、よりよくするための提案**

JICA だからこそ組めたプログラムであったと思う。タンザニアに行くまでは、あまり乗り気ではなかったインフラ整備の現場も、実際に行ってみると教材化につながるものであったし、現地の人々の願いや思いを感じることができたので大変意義のあるものであったと感じた。

よりよくするための提案としては、同行者2人、ファシリテーター1人もいるという、大変贅沢な内容なので、それをもっと活かしてもよいと思う。きっと田中さんも宮本さんも、もっと自分の国際協力活動の考えを教員に伝えなかったはず。2人に何かを企画してもらうのもよかったのではないかな。そこは惜しいことをしたな、と感じた。

**6. その他、研修全般を通じての感想・意見など**

タンザニアを具体的に教材化するためにも、まち歩きは重要である。今回は治安の悪いタンザニアということで、当然こちらも納得の上で、まち歩きは制限された。（イリングでは協力隊の皆さんのご協力により、まち歩きができ、人々の息づかいを感じることができた。）個人的には、もう少し治安のよい国（昨年度のカンボジアなど）、場所を選んで教員に自由を与えたほうが、もっと深く人々の生活にふみこめたのではないかな。同行者は多いので、この利点を活かした方がよい。

田中さん、宮本さん、現地事務所の足立さんには本当にお世話になりました。今回の研修が無事故だったのも、3人の力によるものだと思います。また来年もこの方たちで（タンザニア??）研修を組んでもらえたら、より充実した研修になるのではないのでしょうか。お世話になりました。

提出期限：平成24年8月16日（木）

7. 今後の本研修参加者へのアドバイスなど

今年の参加者は良い意味で大変謙虚であった。ここでいう謙虚の意味は、和を大切にすることである。研修を良いものとするためにも同行者と参加者の信頼関係は大切である。この点は来年度に伝えたほうが良いかもしれない。教員が8人もいれば、だれかしら我が強い人がいて和をかき乱しそうだが……。今年は奇跡??の8人であった。

8. 各訪問先等の所感

日時	テーマ	所感
7月29日(日)	日本からタンザニアまでの移動中および現地到着	田中さん、宮本さんのおかげでスムーズでした。
7月30日(月)	JICA タンザニア事務所表敬	絶対にここで行うべき。必要である。
7月30日(月)	本日の振り返り	ホテル到着が遅くなったので、実施せず。
7月31日(火)	JICA タンザニア事務所 研修ブリーフィング	基本的な知識をご教授いただいた。研修を充実させるためにも必要である。
7月31日(火)	市内視察（教材購入）	教科書購入の時間はもっと短くしてもよいのではないか。私は書籍を購入しなかった。
7月31日(火)	本日の振り返り	最初のふりかえり タンザニアの一番の印象、疑問について話し合った。
8月1日(水)	ミクミ国立公園、タンザム 幹線道路改修計画	幹線道路の充実ぶりに驚かされた。バスで時間をかけて通ったことにより、道路の長さを肌で感じることができた。
8月1日(水)	イリング隊員との懇談	協力隊員が赴任している場所に行ったらまず挨拶に行くべき。お世話になるし、現地の事をよく知っているからである。
8月1日(水)	本日の振り返り	それぞれが考えたことを話し合った。
8月2日(木)	クレルー教員養成学校 横山隊員	設備が充実していて、教育環境がしっかりしていた。学生との討論会は、白熱したものとなった。
8月2日(木)	イフンダ中等学校 幾山隊員	ここでは女子寮を視察することができた。中はあまり見るができなかったが、生徒の生活を身近で見ることができたのがよかった。
8月2日(木)	本日の振り返り	各学校で行ったことのふりかえり。 時間が足りなかった。
8月3日(金)	ンゴメ小学校 谷村隊員	子どもたちのパワーに驚かされた。教職員のおもてなしの心にも驚かされた。
8月3日(金)	コミュニティ訪問	井戸水の管理人を主にインタビューをした。 水の大切さを実感。
8月3日(金)	Mkwawa 博物館	説明熱心でムクワワへの敬意を感じた。
8月3日(金)	専門家との懇談	勉強にはなったが、今回の研修の中でカットするというなら、ここでしょう。
8月3日(金)	本日の振り返り	内容が多すぎて時間が足りず

提出期限：平成24年8月16日（木）

8月4日(土)	地方道路開発技術向上プロジェクト視察	MAGULIWA VILLAGE のみなさんと道路について対話した。村人の道路の重要性を感じる対話となった。
8月4日(土)	イリンガ市内視察	協力隊員の皆さんのおかげで市内を視察することができた。ここで初めて庶民の金銭感覚を知ることができた。
8月4日(土)	本日の振り返り	実施せず。
8月5日(日)	イリンガからダルエスサラームへの移動	往復バスは、長かった。片道は飛行機でも良いのではないか。大阪の研修ではかなり飛行機を使っている。レストランで金銭トラブルあり。
8月5日(日)	本日の振り返り	昨日の振り返りも含めて行った。
8月6日(月)	首都圏周辺地域給水計画視察	村人の水の重要性を感じる対話となった。電気・水道・道の優先順位は??
8月6日(月)	JICA タンザニア事務所 討論会	「ワールドカフェ」の手法を用いた討論会。 JICA 職員も参加してもらったのがよかった。
8月6日(月)	教材購入	ティンガティンガの絵を購入。教材化するためにはどうするか考えながら絵を選んだ。
8月6日(火)	本日の振り返り	研修自体の振り返り。
8月7日(水)	JICA タンザニア事務所 研修報告会	最後のご挨拶。 必要である。
8月7日(水)	在タンザニア日本大使館表 敬訪問	大使公邸にお邪魔した。謙虚な方であった。
8月7日(水)	本日の振り返り	実施せず。
8月8日(木)	タンザニアから日本までの 移動中および日本到着	田中さん、宮本さんのおかげでスムーズでした。 謎の空港使用税を支払わされた。